

やまもと

広報やまもと

9

2011

www.town.yamamoto.miyagi.jp



主な内容

心をひとつに ～チーム山元復興へのあゆみ～	2
被災した建物等の解体・撤去の 受付期限を延長します	5
町の機構と職員配置図	8
東日本大震災山元町合同慰霊祭	11
町内各地で夏まつりが開催されました	13
平成23年度胃がん検診日程	15
上下水道事業所からのお知らせ	16
くらしの情報	19

「山一小児童、復興への熱い思い」
(小平区夏まつり)

(P 13に関連記事)

心をひとつに



復興へのあゆみ

復興土地利用構想を提案します

町では、「山元町震災復興基本方針」をもとに、復興土地利用構想図を策定しました。（左図を参照）

今後、町ではこの構想図を基礎に、町民の皆さんのご意見を反映させたより良い計画づくりを進めます。

復興基本方針について住民説明会を開催します

町では、先月4日に策定した「山元町震災復興基本方針」並びに復興まちづくりにおける土地利用構想について、町民の皆さんにお示しし、意見を伺う住民説明会を次より開催します。

- 開催期間 9月2日、9月10日
- 対象者 平成23年8月時点で山元町に住民登録をされている全世帯
- 説明会における注意事項
 - ・開催案内は、区内回覧、ラジコ、ホームページでお知らせしているほか、町外に

震災復興関連会議を開催しました！

町では、復興基本方針に基づいた具体的なまちづくりを検討するため、先月28日(日)、「震災復興有識者会議」「震災復興会議」を開催しました。両会議では、町が提案した復興まちづくり土地利用構想図(前ページ参照)について、各委員よりさまざまな見地から意見をいただきました。

■第3回震災復興有識者会議(一般公開)

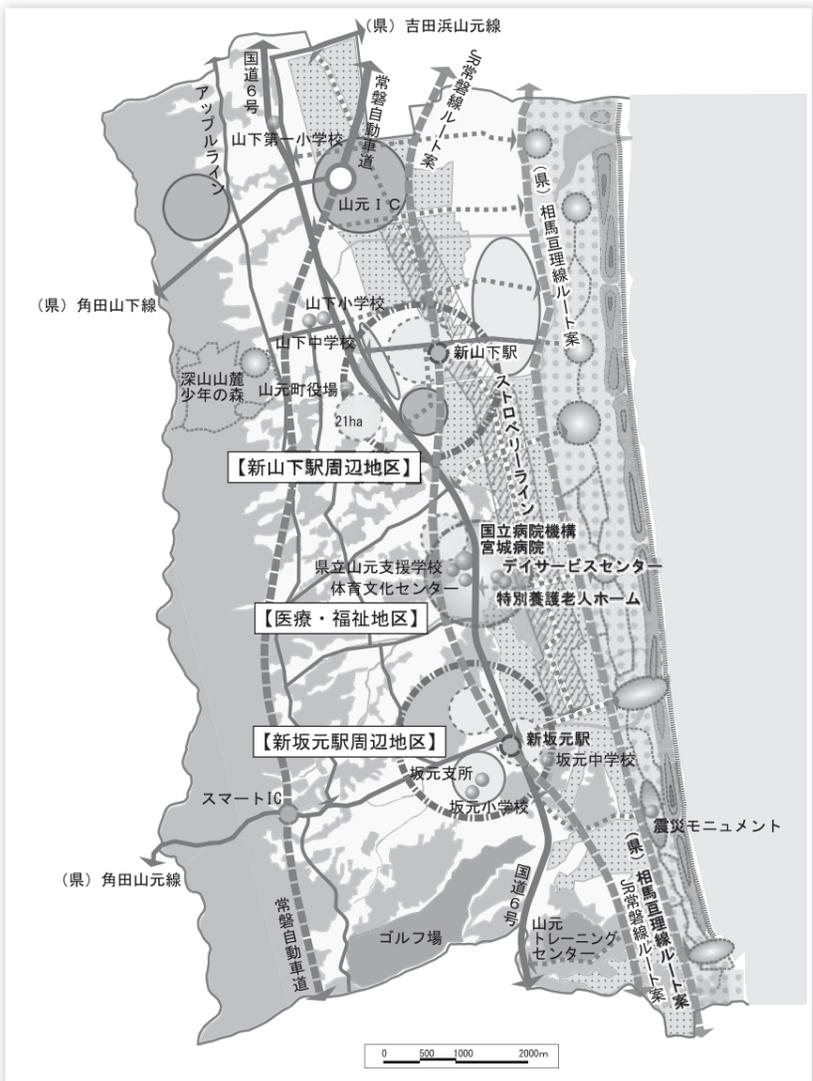
中央公民館を会場に、3回目となる山元町震災復興有識者会議(以下、有識者会議)を開催し、町民約200人が傍聴しました。

会議では、まず事務局が町の復興基本方針をもとに作成された土地利用構想図や防災集団移転についての説明を行ったのち、復興における具体的な意見をいただきました。各委員からは、産業促進の手法や居住地移転の考え方や、町民の生活再建を念頭に置いた意見が出されました。

■第4回震災復興会議

第3回有識者会議の終了後、同会場で引き続き開催した第4回震災復興会議では、有識者会議の内容を踏まえ、

避難されている方については個別に郵送にて通知しています。説明会は、行政区ごとに開催しますので、お住まいの行政区の会場へご来場ください。なお、該当日に都合



※JR常磐線及び県道相馬亘理線のルート並びにスマートICについては関係機関と調整中

新居住用地	第1次産業用地ゾーン(農業生産(再生)用地)	町内ネットワーク(避難路)
産業系用地	防災緑地ゾーン	町内ネットワーク(国道・県道・町道(既設/計画))
医療福祉関連施設集積エリア	交流ゾーン用地	散策路等
既存集落	いちご等施設園芸集積エリア	防波堤・防潮堤「土地利用構想図(案)」

「山元町 震災復興計画関連情報」
<http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/fukkou/index.html>

主に安全な居住地の確保や生活再建にあたっての多角的な手法について、各委員が議論を交わしました。会議中、委員から町が策定した土地利用構想図等について住民の意向とのすり合わせが求められ、齋藤町長は、今後も継続して住民説明会やアンケートを実施し、町民への理解をもとめていく旨回答しました。

町の復興計画に関するご意見を募集します！

町では、震災復興基本方針に基づいた復興計画の策定にあたり、皆さんの意見を募集します。お寄せいただいた意見は、復興計画策定の参考にさせていただきます。

○意見提出における注意点

- ・必ず、住所・氏名をご記入ください。
- ・原則として、意見に対する個別の回答は行いませんので、あらかじめご了承ください。

・回答の様式は自由です。
 ※意見提出のあて先は、ページ下段をご覧ください。

第3回有識者会議 委員からの主な意見

話題	内容
居住地	○山元町らしい災害公営住宅のあり方を考えてほしい。(石井委員)
産業	○農業のブランド化を図るため、亘理町との連携、イチゴ加工業の促進、観光農園や道の駅の設置による販路拡大を検討する必要がある。また、人口減少を抑えるためにも、雇用創出の仕組みづくりを進める必要がある。(柳井委員)
防災	○震災モニュメントは、避難所などの実用性を備えたものを考えてはどうか。(柳井委員) ○防災緑地となる地域にも、先人の文化、歴史を残していくことで観光資源にもなる。(広田委員)
医療	○高齢者にもやさしいまちづくりの構想が練られているように感じたが、若い世代が魅力を感じるような子育てのサービス・拠点整備が必要である。(石井委員) ○暮らしやすさ・利用しやすさを考え、医療の機能・サービスは分散させた方が良いのではないか。(石井委員)
地域コミュニティ	○山下と坂元の連携が取れる具体的な仕組みを考えてはどうか。(清野委員)
その他	○土地利用構想を実現する手法について、多方面からの検討を行い、山元町らしい整備手法により、さまざまな制度メニューを活用していくことが必要である。(三部委員)

第4回復興会議 委員からの主な意見

話題	内容
居住地	○沿岸部でも、住居が残った地区がある。移転や土地利用など、柔軟に対応する必要がある。 ○地盤の状況を調査し、居住地の選定をしてほしい。
農業	○新しいストロベリーラインにイチゴ畑の代替地を早くほしい。 ○農産物の加工、地産地消によるブランド化も必要である。
防災	○避難所は防災無線の音声やラジオが聞けるようにしてほしい。
その他	○山元町のカラーを出して、明るく元気の出る癒しの町として復興を進めてほしい。 ○丈夫な保育所、生活に必要なサービスをワンストップで提供できるようなまちづくりをしてほしい。

意見提出のあて先
 郵送 〒989-2292 山元町浅生原字作田山32番地 山元町震災復興推進課あて
 F A X 0223-37-4144
 Eメール iken-fukkou@town.yamamoto.miyagi.jp
 意見箱 山元町役場(仮庁舎)1階総合窓口および坂元支所1階窓口

が悪い場合には、他の会場にお越しいただくことも可能です。(説明会の内容は全会場同じ)
 ※町では、今後も、復興計画に関する説明や皆さんの意向を伺う機会を随時設ける

予定としています。

建築制限の期限を延長します
 7月1日から花釜・牛橋・山下地区の一部に設けている

建築制限の期限を、11月10日まで延長します。
 なお、復興に向けた土地利用計画に支障のない建物は、許可を得て建てられる場合がありますので、詳しくはご相談ください。

復興まちづくりキーワード集

このコーナーでは、復興計画策定にあたり、関連する事業や制度などを紹介します。これらの制度は、今後、国や関係機関との調整を図りながら、導入の検討を進めてまいります。また、制度の内容は、市町村や町民の皆様が使いやすいよう、現在、国において詳細を検討しており、内容が変わることもあります。

災害公営住宅整備事業

- 「災害公営住宅整備事業」とは？
災害により住宅を失い、自力では住宅の確保ができない方を入居対象とし、応急仮設住宅後の恒久的な住まいとして、町が整備する町営住宅です。
- 入居対象者
災害により住宅を失った方
※東日本大震災の発災日から3年間は被災者に限られます。(入居者の収入条件や親族要件などは適応しません)
- 家賃
世帯の収入と、入居する住宅の大きさ、築年数などによって決定される。
- 建築形態
・集合住宅(一つの建物の中に複数の世帯が入居したものを基本としますが、一戸建ての建築も可能です。
・建物床面積は、原則として、1戸あたり18㎡～80㎡です。
- 災害公営住宅の払い下げ
・建築から一定期間が経過した時点で、入居者への払い下げも可能となります。

【災害公営住宅の例】

▼秋田県秋田市(秋田県営南ヶ丘住宅)



▼岩手県陸前高田市(県営鳴石住宅)



防災集団移転促進事業

- 「防災集団移転促進事業」とは？
以下のような区域のうち、移転促進区域(住民の居住に不適さないと認められる区域)にある住居について、町が移転先の土地の確保や移転費用の補助などを行い、集団移転を促す事業のこと。
・津波などの災害が発生した地域
・建築基準法により定められる災害危険地域
 - 事業の流れ
- ①町による移転先の住宅団地の土地取得・造成など …※1
 - ②町が「移転促進区域」の土地を買取り …※2
 - ③移転者が町の土地を賃貸または購入し、住宅を建築 …※3
 - ④移転者が住居を移転 …※4
- 事業が採択されるための条件
・移転先の住宅団地に10戸以上(移転しようとする住居の数が20戸を超える場合はその半数以上の戸数)が集団移転すること。
・移転促進区域内にあるすべての住居が移転され、町が全ての土地を買取ること。
 - 補助等の内容・条件(要約)
- ※1 移転先の住宅団地の整備費用
・住宅団地の整備は町が行います。
 - ※2 「移転促進区域」の買い取り額
・「移転促進区域」内の宅地および農地の全てを町が買い取ります。
・災害発生の恐れがある危険区域であることを考慮した価額にて、買い取りを行います。
 - ※3 移転者の土地購入、住宅建築への補助
・土地購入や住宅の建築のための借入金の利子相当分に対し、町が補助します。(1戸あたり最大406万円)
 - ※4 移転に対する補助
・引越し費用や従前家屋の撤去費用等の住宅移転費用に対し、町が補助します。
・移転の補助上限額…78万円
(離農が伴う移転の補助上限額…237万2千円)

被災した建物等の解体・撤去の受付期限を延長します

町では、東日本大震災により被災した建物等について、現在、所有者に代わって解体・撤去を実施します。当初、その受付申請期限を8月31日までとじていたものが、次のとおり延長することにしました。

申請受付期限 10月31日(月)

建物等の解体・撤去を希望される方は、申請内容をご確認のうえ、まちづくり整備課まで申請をお願いします。

また、被災建物等の所有者が申請受付開始以前に業者に委託して解体・撤去した被災建物等についても、助成の対象としていますので、お問い合わせください。

まちづくり整備課 整備班
☎3715111(内線263)

災害廃棄物処理等の今後の方向性

災害廃棄物の処理

今回の震災によって山元町内で発生した災害廃棄物の量は73万3千トン(宮城県推計・土砂などの津波堆積物を除く)とされています。本来、災害廃棄物の処理は

町が行うこととなつていますが、今回の震災においてはその量が膨大であることから、町が自らその処理を行うことが困難なため、災害廃棄物の処理(焼却処分や埋立処分)については県に委託し、その処理を行うこととしています。

処理施設

県が設置する災害廃棄物の2次処理を行う施設については、当初、牛橋地区(山寺字須賀地内・牛橋河口の南)の保安林(約30ha)に設置し、2市2町(山元町・亘理町・岩沼市・名取市)で発生した災害廃棄物を1カ所で処理する計画でしたが、他市町村からの交通の利便性や経費の問題などから検討を重ねた結果、県は2市2町に施設を設置し、4カ所それぞれで処理を行うことと決定されました。

このことにより、当初計画していた牛橋地区では地盤が低く冠水の恐れがあることや、搬入通路の状態が良くないことなどから、笠野地区(高瀬字浜砂地内・山下第二小学校の北東)の保安林(約13ha)が選定されました。

処理スケジュール

処理施設については、現在、県で公募型プロポーザル方式(企画提案方式)による受託業

者の募集および選定が進められており、今月中には業者が決定する見通しです。その後、用地の造成や焼却施設の建設が進められ、施設においては、選別・破碎・焼却などの中間処理を経てリサイクル・最終処分を行い、平成25年度末までにすべての災害廃棄物の処理および仮置き場(処理施設を含む)の撤去までを完了させる見込みとなっております。

町では今後の処理の効率化のため仮置き場の分別処理を行い、2次処理施設が完成しだい施設での処理を進めてまいります。

10月からの医療費助成手続きに関するお知らせ

今年度、医療費助成の対象になる方には直接受給者証を送付しますので、申請等手続きは必要ありません。被災により医療保険免除証明の対象となる方については、来年2月ごろに受給者証を送付予定としているため、今回は送付しません。なお、転入等で手続きが必要な方には、別途お知らせします。

また、加入している医療保険等に変更があり、変更届の提出が済んでない方は、保健福祉課で変更手続きを行ってください。

保健福祉課 福祉班
☎3711113(内線144)

東日本大震災に伴う一部負担金等免除証明書の取り扱い

山元町国民健康保険・宮城県後期高齢者医療保険の免除証明書をお使いの方へ
国民健康保険・後期高齢者医療保険に加入している方のうち、東日本大震災により住家が全半壊した方等には、既に免除証明書の交付を行っているところですが、このたび、

携帯電話向け気象関連情報の提供

気象庁では、国土交通省防災情報提供センターの携帯電話向けページで、雨や雪の実況と1時間先までの予想および今後の潮位の見通し等を閲覧できるよう、気象関連情報を提供しています。ぜひご利用ください。

国土交通省 防災情報提供センター
☎03152538111



東日本大震災に伴う後期高齢者医療保険料の減免割合に関するお知らせ

東日本大震災に伴う後期高齢者医療保険料の減免割合は、次のとおりとなります。次のいずれかの条件に該当する場合には、あらためて手続きが必要となりますので、保健福祉課にお越しください。

なお、本町のり災証明書が発行され、住宅の損害①に該当する方には、既にご案内を送付していますので、あらたな手続きは不要です。

(平成23年7月15日付けで保険料の決定通知書を送付していますので、内容をよく確認のうえ、納め忘れなどないようお願いします)

■住宅の損害

対象	損害程度	減免割合
主たる生計維持者が居住する住宅	① 全壊	全部
	半壊(大規模半壊含む。)	1/2

※被災者生活再建支援法(平成10年法律第66号)第2条第2号ハに規定する長期避難世帯に属するものについては、その減免割合を全部とする。

■主たる生計維持者の死亡、傷病等

対象	事由	減免額
主たる生計維持者	② 死亡	同一世帯に属する被保険者の保険料全部
	重篤な傷病	
	③ 行方不明	

■主たる生計維持者の収入の減少等

対象保険料額に各区分による減免割合を乗じて得た額

対象	対象保険料額	減免額	
主たる生計維持者	④ 事業や業務の損失、失業等により収入が著しく減少した場合(世帯の主たる生計維持者の事業収入、不動産収入、山林収入、または給与収入のいずれかで10分の3以上の減少が見込まれ、減少したその後の総所得金額に応じて右記の減免割合により計算する)	300万円以下であるとき	全部
		300万円を超え400万円以下であるとき	8/10
		400万円を超え550万円以下であるとき	6/10
		550万円を超え750万円以下であるとき	4/10
	750万円を超え1,000万円以下であるとき	2/10	
	事業等の廃止や失業	全部	

■主たる生計維持者以外

対象	事由	減免額
主たる生計維持者以外の被保険者本人	⑤ 行方不明	被保険者本人の保険料全部
	重篤な傷病	

■原発事故に伴い、避難した等の被保険者

対象	区域	減免割合
福島原発事故により避難した等の被保険者	⑥ 1. 避難指示(20km圏内)	全部
	2. 屋内退避(20～30km圏内)	
	⑦ 3. 計画的避難区域・緊急時避難準備区域	
	⑥ 4. 屋内退避指示が解除され、3に該当しない区域	
	⑧ 5. 特定避難勧奨地点(線量が20msvを超えると推定されるとして特定した住居)	

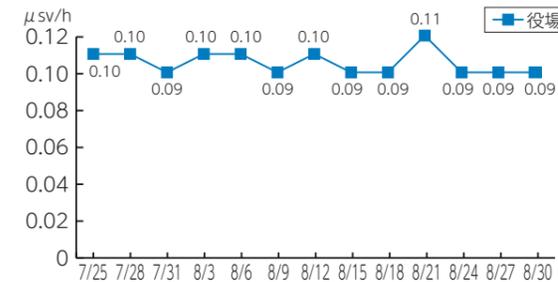
保健福祉課 健康づくり班 ☎37-1113(内線146・147)

空間放射線量測定結果の推移

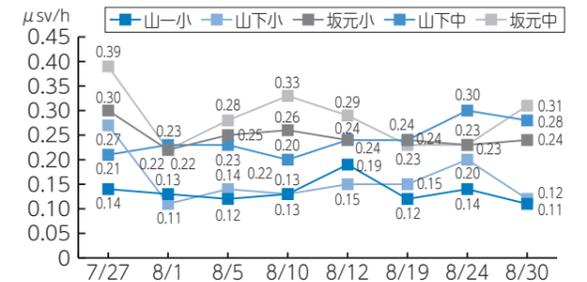
町では、現在、次のとおり16カ所で空間放射線量の測定を実施しています。その測定値は、今のところ「健康に影響を与えるレベルではありません」ので、ご安心ください。

なお、この測定結果は、町ホームページに掲載しているほか、りんごラジオ(80.7MHz)でもお知らせしています。

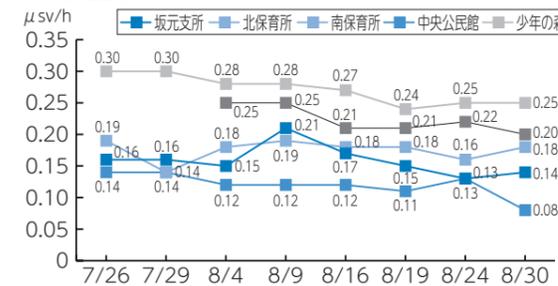
■役場庁舎前



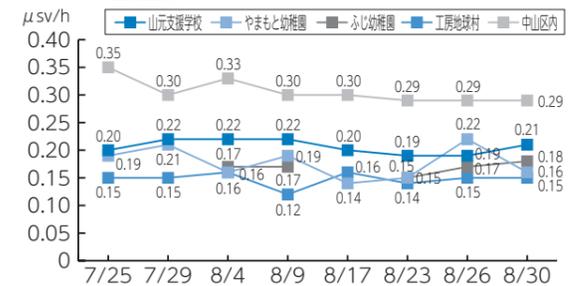
■小・中学校



■町施設



■その他施設等



※役場は東北電力がサーベイメータで、それ以外の施設は町職員等が簡易型環境放射線モニタでそれぞれ測定した値です。

※南保育所(老人憩の家)、ふじ幼稚園(真庭区民会館)は、8月1日から測定開始。

☎総務課 安全対策班 ☎37-1111(内線212)

☎総務課 安全対策班
37-1111(内線215)



交通安全にご協力をお願いします!

秋の交通安全運動が全国一斉に展開されます!

実施期間 9月21日(水)から30日(金)までの10日間

運動の重点

- (1)夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- (特に反射材用品等の着用の推進および自転車前照灯の点灯の徹底)
- (2)すべての座席のシートベルトとチャイルドシート
- の正しい着用の徹底
- (3)飲酒運転の根絶

山元町で交通事故が急増!

震災の影響で、昨年より減少していた交通事故発生件数も、8月に入り事故が多発し、昨年の発生件数に迫る勢いになっていきます。

特に、次のような事故が増加しています。

- 見通しが良い交差点での出会い頭の衝突
- 信号待ち停車中の車両に追突

皆さん、次の点に留意した運転を心がけましょう。

- ◇交通ルールを守り、いつでもどこでも安全運転を心がける。
- ◇夏は暑さで体力が消耗し、注意力が散漫になります。ゆとりを持った運転計画を立てる。
- また、飲酒運転違反も大幅に増加しています。
- 飲酒運転は凶悪な犯罪です。
- お酒を飲んだら、タクシーや運転代行を利用しましょう。

☎総務課 安全対策班 ☎37-1111(内線215)



1日も早い町の復旧・復興に向けて、組織の見直しおよび人事異動を行いました。これからも“チーム山元 心をひとつに”新たなまちづくりに取り組んでいきます。
町民の皆さんのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



震災対応の最中、辞令を受領し齋藤町長から訓示を受ける新規採用職員(4月1日)

町の機構と職員配置図

町長 齋藤 俊夫 副町長 平間 英博

保健福祉課 ☎37-1113 内線140 課長 齋藤 三郎				町民生活課 ☎37-1112 内線160 課長※佐藤澄三郎		税務納税課 ☎37-1114 内線150 課長 平田 篤司		震災復興推進課 ☎37-0497 内線270 課長 鈴木 光晴		企画財政課 ☎37-1118 内線220 課長 寺島 一夫		総務課 (選挙管理委員会事務局) ☎0223-37-1111 内線210 FAX0223-37-4144 課長 島田 忠哉		※は兼務または併任																			
北保育所 ☎37-0184 保育班		南保育所 ☎37-5271 保育班		介護班 内線131		健康づくり班 内線142		福祉班 内線141		生活班 内線121		窓口班 内線122			納税班 内線155		課税班 内線151		計画調整班 内線271		理事 庄司 正一		財政班 内線222		企画班 (行政改革推進班) 内線221		主事 鈴木麻紀子(宮城県後期高齢者医療広域連合事務局派遣)		安全対策班 内線212		総務班 内線211		参事 菅野 寛俊 佐藤 浩一
班員 牧野 圭子 班長(所長) 北郷 節子 班員 佐藤 さゆり 班員 伊藤 ひとみ 班員 高橋 由紀 班員 齋藤 明奈 班員 飛鳥(税務納税課)		班員 齋藤 康子 班員 佐藤 雅子 班員 渡邊 志賀 班員 伊藤 和子 班員 佐藤 裕美 班員 佐藤 寿子 班員 伊藤 祐子 班員 山田 涼子 班員 齋藤 明奈 班員 飛鳥(税務納税課)		班員 齋藤 紀子 班員 高橋 千代子 班員 齋藤 直人		班員 菊地 光 班員 永谷 健一 班員 佐藤 睦美 班員 菅井 祥子 班員 渡邊 卓臣 班員 相澤 佳代子 班員 伊藤 祐子 班員 山田 涼子 班員 齋藤 明奈 班員 飛鳥(税務納税課)		班員 三宅 元樹 班員 村上 和重 班員 伊藤 重 班員 伊藤 千春 班員 嶋田 洋子		班員 阿部 正憲 班員 東見 たい子 班員 三品 正史		班員 渡邊 美香 班員 星 智美 班員 加藤 洋子 班員 阿部 美幸 班員 菊地 卓		班員 佐藤 繁樹 班員 小泉 千壽子 班員 伊東 康太 班員 森 隼人 班員 飛鳥 隼人		班員 齋藤 明奈 班員 阿部 定一 班員 渡邊 一晃 班員 菅野 祐弥 班員 武田 智浩		班員 佐藤 和典 班員 佐藤 宏 班員 阿部 淳也 班員 大和田 秀生		班員 渡邊 暁子 班員 齋藤 剛 班員 佐藤 仁 班員 渡邊 聖子		班員 鈴木 宏幸 班員 鈴木 浩二 班員 菊地 里奈 班員 伊藤 和彦		班員 小野 桂子 班員 伊藤 孝浩 班員 横山 茂行 班員 菅井 健太郎 班員 山内 大石久美子 班員 山内 薫		班員 菅野 寛俊 班員 佐藤 浩一							
農業委員会事務局 ☎37-5117 内線240 局長 ※渡辺 庄寿				議会事務局 (監査委員事務局) ☎37-5114 内線350 局長 渡邊 秀哉		上下水道事業所 ☎37-1120 内線250 所長 荒 勉		坂元支所 ☎38-0301 内線400 FAX 0223-38-0302 支所長 富田 健一		総務班 内線231		議事班 内線351		施設班 内線252		庶務班 内線251		総括班 内線401		会計課 ☎37-1116 内線160 会計管理者 佐藤澄三郎		災害復旧室 ☎37-5111 内線280 室長※庄司 正一		まちづくり整備課 ☎37-5111 内線260 課長 森 政信		産業振興課 ☎37-1119 内線240 課長 渡辺 庄寿		地域包括支援センター ☎37-3901 内線130 所長※渋谷美智子		※は兼務または併任			
班員 酒井 昭彦 班員 山本 征江		班員 大和田 紀子 班員 馬 崇則		班員 大坪 丈幸 班員 富樫 誠 班員 岩佐 寛 班員 手塚 利幸		班員 青田 幹真 班員 引地 信夫		班員 岩佐 孝子 班員 森 慎一郎		班員 伊藤 常則 班員 橋本 博		班員 武田 正則 班員 佐藤 修 班員 山田 一也		班員 鈴木 久美 班員 今野 純子 班員 木村 真人 班員 門間 健太郎		班員 大橋 邦夫 班員 木村 守 班員 大和田 数正 班員 日下 初博		班員 阿部 智志 班員 宮部 睦 班員 南條 みなこ 班員 森 浩昭		班員 大和田 敦 班員 山本 征江 班員 横山 育生 班員 泉田 智久		班員 高橋 千代子 班員 武田 綾子 班員 大槻 久美子 班員 清田 史											

新規採用職員

● 4月1日付、()は配属先

齋藤 明奈(震災復興推進課)
飛鳥(税務納税課)
丹野 修太(生涯学習課)
※任期付常勤職員



地震発生時刻の14時46分に合わせ、黙とうが捧げられました



齋藤町長による献花



山元町コーラスグループが捧げた鎮魂歌

東日本大震災 山元町合同慰霊祭
犠牲となられた御霊に祈りを捧げ
新たな町の復興・再生を誓う

多くの方々が参列し、犠牲となった方々のご冥福を祈りました

父母、妻を亡くされた荒剛さん(磯区)は「震災から5カ月が経とうとしていますが、あまりにも突然の別れで、残された私たちは、今も3人の名前を呼んでは思い出し涙しています。いずれ私もそちらへ行きますが、それまで3人で仲良く残された家族を見守っててください。私は子どもたちとともに、頑張っ生きていきます」と述べ、ま



荒剛さん

あの上まわしい震災から5カ月となる先月11日、山下中学校体育館を会場に、「東日本大震災 山元町合同慰霊祭」が執り行われ、遺族や親族ら約1,600人が参列しました。齋藤町長は「復興・再生、発展への道のりは、確かに長く険しいものになりますが、犠牲となられた多くの方々、そのお一人おひとりの無念さを決して忘れることなく、チーム山元として心をひとつにして、明日に向けた山元町の復興とさらなる発展のため、全力で取り組んで参りますことを、ここにお誓い申し上げます」と式辞。

その後、参列者全員で祭壇に白い菊を手向け、犠牲となられた多くの町民の冥福を祈るとともに、式典の最後に「山元町民歌」を力強く合唱し、犠牲となられた御霊に新たな町の復興・再生を誓いあげました。



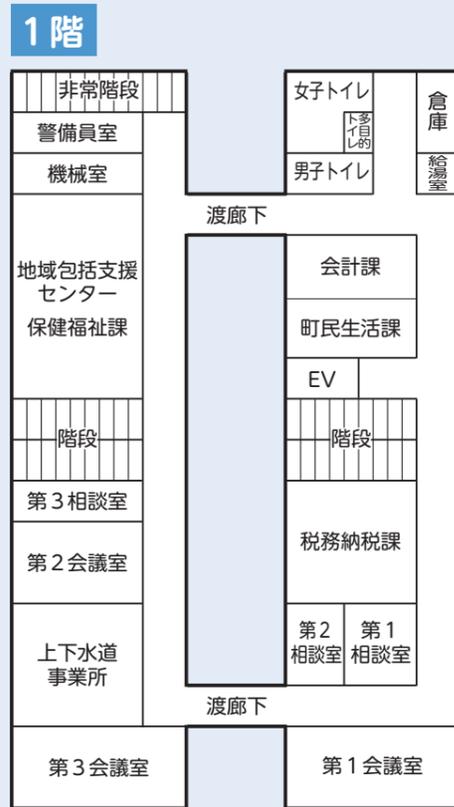
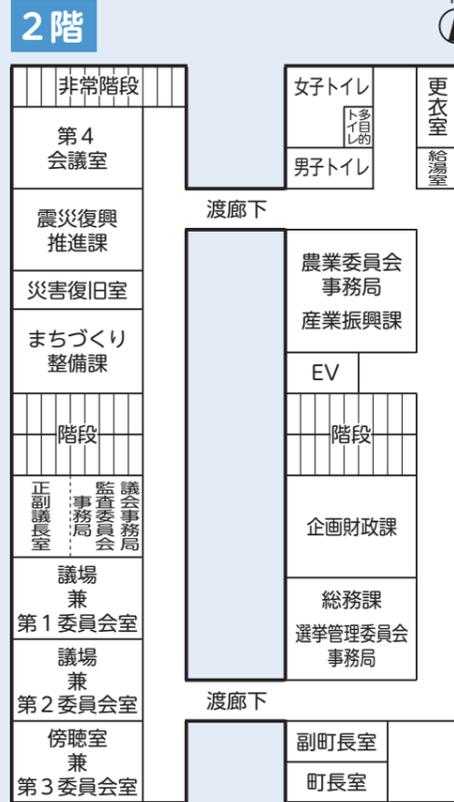
鎮魂の厳かな音色が会場内に響き渡りました(陸上自衛隊第6音楽隊)

た、夫と母を亡くされた桔梗理恵さん(牛橋区)は「津波という自然災害では、この怒りと悲しみはどこにもぶつけようがありませんが、2人の無念さを思うと涙が止まらなくなりません。これからは、今までの主人と母から注がれた愛情を胸に、生かされたこの命を大切に、精一杯生きていこうと思います」と、両名が遺族を代表して「お別れのことは」を述べました。



桔梗理恵さん

仮庁舎配置図



※教育委員会(教育長室・学務課)は、勤労青少年ホーム(1階講義室)に移動しました。
※生涯学習課は、これまでどおり中央公民館事務室で業務を行います。

教育委員会関係

教育長 森 憲一

学務課
☎37-5115 内線320 FAX0223-37-5119
課長 岩佐 秀広

- 総務班 内線321
班長 佐山 学
班員 青田 敦子 大石 知也
- 山下小学校 ☎37-0018
用務員 吉野 隆
- 山下第一小学校 ☎37-0044
用務員 佐藤 美子
- 山下第二小学校 ☎37-0072
給食従事員 加藤 直子 目黒 美子
用務員 小野寺順子
- 坂元小学校 ☎38-0305
用務員 佐藤 ふみ 岩佐 恵美
- 中浜小学校 ☎38-0319
用務員 三浦美由樹
- 山下中学校 ☎37-0032
用務員 山川 和子
- 給食従事員 鈴木 英子 佐藤 幸子
成毛 雅子 岩佐 宮子 阿部 洋子
渡邊 浩孝
- 栄養士 武田美代子 用務員 渡邊美恵子

生涯学習課
☎37-5116 内線420
FAX37-0119
課長 渡邊 隆弘

中央公民館・歴史民俗資料館
町民体育館・勤労青少年ホーム
町民プール・深山山麓少年の森
ふるさと伝承館
館長 岩佐 洋一

- 生涯学習班 (公民館班) 内線429
班長 武田 賢一
班員 加藤 幸良 齋藤 哲
福田 拓己 齋藤 香織
富則 丹野 修太 山田 隆博
- 中央公民館 ☎37-5116 FAX37-0119
- 歴史民俗資料館 ☎37-0040 FAX37-0040
- 町民体育館 ☎37-2919 FAX37-2919
- 勤労青少年ホーム ☎37-5116 FAX37-0119
- 町民プール ☎37-8350
- 深山山麓少年の森 ☎37-3150
- ふるさと伝承館 ☎37-0040
- ※各施設の職員は生涯学習班と兼務
- 坂元公民館 ☎38-0415 FAX38-0302
※館長(富田 健一)、および職員は坂元支所と併任

青空のもと、参加者の笑顔あふれる



とれたてキュウリやスイカを口に、集いを楽しむメンバーの皆さん

それぞれ自己紹介し、とれたてのキュウリで声高らかに乾杯。

その後、農園で収穫されたばかりのみずみずしいスイカやNPOが準備した流しソーメンを味わいながら、野菜作りの今後の抱負を語りあったり、栽培に関する情報交換を行ったりしていました。その参加者の表情には、被災していることなど少しも感じられないほど、笑顔があふれ、笑いの絶えない楽しい集いとなりました。

現在、ネギやゴーヤ、ナスなど7種類を栽培するメンバーの岩崎敏さんは、「参加する前は何もすることがなく、気が滅入っていましたが、今は畑に来るのが楽しみで、1日おきに欠かさず通っています」と楽しそうに話していました。

佐藤理事長は、「参加者の笑顔を見て、本当にやって良かったと思っています。参加者の皆さんのため、せめて仮設入居期間の2年間は何としても続けていきたい」と今後の抱負を話していました。

野菜ガルデン・メンバーの集い

先月9日(火)、町の活性化を目的に活動するNPO法人「里山ひろば」が被災者支援として、4月下旬に浅生原区内に開設した農園、名付けて「野菜ガルデン」でメンバーの集いが開催されました。

「野菜ガルデン」は、同NPOの佐藤理事長が提供した約4,000㎡の休耕田に開設したもので、農機具や社台レースホースの協力により肥料となる堆肥も完備。NPO会員が避難所にチラシを配るなどして集まった町内各仮設住宅入居者33人が、現在、約30種類の野菜や果物を栽培しています。

主催者と参加者の初顔合わせとなった当日は、同農園の世話役を担うNPOの役員、参加者がそれぞれ



ゴーヤを前に、うれしそうに話す岩崎さん

町の復興を願って

表紙関連記事

各地区で夏祭りが開催されました

今年は、震災の影響により自粛ムードが広がるなか、先月13日から19日にかけて、町内3地区で町の復興を願い開催された夏祭りについてご紹介します。

先月13日(土)、真庭区民会館グラウンドで開催された「真庭区震災復興夏祭り」では、開会に先立ち、萬福寺住職による震災犠牲者慰霊式典が執り行われたほか、真庭区民会館新浜区や笠野区、ふじ幼稚園に参加を呼びかけたところ、多くの方が当日来場。例年を大きく上回る大勢の方で賑わいました。祭りの最後には、毎年恒例の花火が打ち上げられ、復興への思いが詰まった大輪の花が夜空を彩りました。



恒例の盆踊りも大賑わい

14日(日)には、小平農村公園で7回目を迎える「2011小平夏まつり」が開催されました。「感動」「笑顔」「元気」をテーマに開催するこの祭りも、今回は震災の影響で「開催について賛否両論があり、とても悩んだ」と話す実行委員長の関博孝さん。そんな折、高橋区長から「自粛するだけでは前に進まないのでは」との力強い後押しがあり、開催に踏み切ったそうです。

当日は、例年にも増して趣向を凝らした催事が盛りだくさん。また会場内には、山下第一小全校児童105人による復興への思いを記したメッセージパネルが展示されたほか、震災の犠牲者に対し地元鳳仙寺梅花流ご詠歌が捧げられるなど、が行われました。



必死で飲んだラムネの早飲み競争

20日(土)、旧坂元中跡地仮設住宅集会所前で、同仮設住宅自治会主催の「ふれあい長屋夏まつり」が開催されました。この祭りには、犠牲になられた方々を慰霊するとともに、今後生活の復興に向け新たな一歩を踏み出そうという願いが込められています。

企画した同仮設住宅行政連絡員の齋藤襲男さんは、「みんなに反対されるだろうと覚悟して相談したところ、みんなが賛成し、今日まで準備に協力してくれた」と振り返ります。

当日は、カラオケ大会が行われたほか、入居者全員で鎮魂や復興への思いを書いた85個の紙とろうが並べられ、それぞれの思いを吹き込むように、1つひとつに明かりが灯されました。

祭りの最後には、参加者全員で復興に向け一歩ずつ前へ踏み出すことを誓いあうように、「上を向いて歩こう」を大合唱。復興に向けて入居者の心がひとつになった夏まつりとなりました。



皆さん、カラオケ大会が大盛り上がり

避難所で祝100歳

ご長寿おめでとうございます！

5カ月ほど前の出来事でホットニュースではありませんが、震災の最中にあったおめでたい話題をひとつご紹介します。

4月5日、避難先の保健センターで100歳の誕生日を迎えた林イトさん(磯区)に、町から敬老祝い金とお祝いの花束などが贈られました。

齋藤町長から「100歳の誕生日おめでとうございます」とのお祝いの言葉に、照れ笑いしながらもしっかりとした口調で「皆さんに、こんなにさせていただいてありがたいと思っています」とお礼を述べるイトさん。同じく避難する方々にイトさんが100歳になったことが伝えられると、避難所内からは拍手が沸き起こりました。

地震発生当時、あまりにも激しい揺れに自宅を飛び出し近くの木につかまっていたというイトさんは、自宅が高台にあったため、幸いにも津波の被害はありませんでしたが、周囲が浸水したため孤立。1人暮らしのイトさんを心配して様子を見に訪れた近所の緑川秀雄さんとともに、自宅で身を寄せあって2晩過ごし、3月13日に自衛隊のヘリコプターで無事救出されたそうです。

イトさん、これからも元気でお願いします。



おめでとうございます！

国道6号の早期復旧に貢献

山口清一さんが「東北地方整備局長表彰」を受賞



山口清一さん

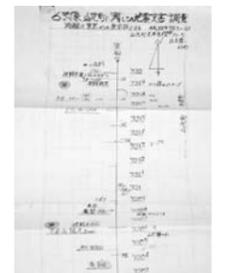
7月29日、東日本大震災関係功労者として、山口清一さん(大平区)に対し、国土交通省から東北地方整備局長表彰が贈られました。

山口さんは、震災発生直後の3月13日、14日の2日間、国道6号の亘理町境から福島県新地町境まで約26kmに渡って、徒歩による道路被災状況調査を実施。詳細な被災箇所情報を道路管理者(国土交通省)に提供、早期の災害復旧を支援した功績が認められたものです。

「13日の午前中、仙台方面に向かって車を走らせた際に、町内の道路被災状況が他のどこよりもひどかったため、この現状をいち早く道路管理者に知らせなければ…と思った」と、調査実施の経緯を語る山口さん。13日の午後、仙台から戻るとさっそく調査を始め、歩道の亀裂や段差、陥没などを確認していったそうです。

当時、自身も山下第一小体育館に避難していた山口さんは、調査後避難所に戻り、調査した被害状況を事細かに方眼紙に書き込み、2日かかりで約2mにも渡る「地震災害調査図」を完成させました。

「私は大したことはしていません。自分のしたことが本当に役に立ったのでしょうか？」と笑いながら受賞した心境を話す山口さん。現在は、町臨時職員としてガレキ撤去作業に従事する傍ら、約4年前から取り組んでいる国・県道沿線の草刈り作業ボランティアを地道に続けてきたいと今後の抱負を話していました。



事細かに記された手書きの調査図

被災者の心を癒す優しい音色

警視庁音楽隊・県警音楽隊合同復興コンサート

先月4日(土)、中央公民館大ホールを会場に、「手をつなぎ心はひとつ」をテーマとした警視庁音楽隊・県警音楽隊合同復興コンサートが開催されました。

このコンサートは、音楽を通じ被災された方々の心を癒すことを目的に警察庁が開催したもので、当日は被災された町民など約150人が参加しました。

この日演奏した警視庁音楽隊は平成4年以来約20年ぶりの来県、県警音楽隊については震災後初の演奏会となったコンサートでは、両音楽隊の隊員30人が「夢をかなえてドラえもん」やAKB48の「会いたかった」、「時代劇メドレー」など、子どもからお年寄りまで楽しめる全9曲を披露しました。

また、演奏の合間には、県警の隊員から参加者に対し、なぞなぞや冗談を交え、被災地で横行する振り込め詐欺や悪質商法、飲酒運転についての注意が呼びかけられ、参加者から笑いが沸き起こる場面もちらほら。

演奏中、会場内では曲の歌詞を口ずさむ姿やリズムを取りながら微笑む姿が各所でみられたほか、演奏終了後にはアンコールの声が飛び出すなど、参加者は終始和やかな雰囲気の中で、音楽を楽しんだひとときとなったようです。



すばらしい音色が会場内に響き渡りました

みんなで作る 元気やまもと21 コーナー

このコーナーではみなさんの健康や福祉に関する情報を紹介します

問い合わせ 保健福祉課 ☎37-1111・1113
内線 福祉班 141 介護班 130 健康づくり班 142

災害時のこころの反応

思いがけない災害や事故が身近で起きた時、私たちのこころには、「急性ストレス反応」と呼ばれる次のようなさまざまな変化が起こるといわれています。

◆感情の反応

睡眠障害、強い不安、孤独感、意欲の減退

◆身体的反応

頭痛、手足のだるさ、筋肉痛、胸痛、吐き気、便秘

◆思考面の反応

仕事に集中できない、無気力になる、一時的に記憶力が低下する、物事の決断ができなくなる

◆行動面の反応

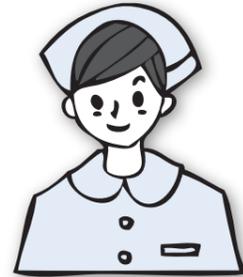
神経過敏な状態が続くため、家庭内でちょっとしたことでけんかになるなど、人間関係のトラブルが起こりやすくなる

先に示したようなこころの反応は、災害や事故という異なる

常事態によって引き起こされる自然な反応で、多くの場合、時間とともに薄らいでいきますが、時々長引くことがあります。

症状が長く続く場合には、医師などの専門家による治療が必要なことも多いので、早めに医療機関を受診することをおすすめします。

町では、月に1回、精神保健相談を行っていますので、相談を希望する方は、保健福祉課健康づくり班までお問い合わせください。



◎子どもや高齢者への対応

子どもや高齢者は成人に比べ、行動が制限され、自分で対処できることが限られてくるため、幼児期の子どもが赤ちゃん返りしたり、イライラしたり、恐怖心や不安感、無力感が強くなることがあります。

◆子どもへの対応上の注意点

○子どもたちの気持ちを聞いてあげる。
○子どもに接する大人も自分の気持ちを子どもに話す。

○子どもがいきいきと活動できるような行事を組む。

○災害ごっこ遊びや災害の絵をかくことを禁じない。

◆高齢者への対応上の注意点

○頻繁に声をかけ名前を呼び、今の状況をわかりやすく説明する。
○よく話を聞き、気持ちをくんであげる。

○心身の状態に注意する。

平成23年度 胃がん検診日程

7月に申し込んだ方を対象に、下記の日程で検診を実施します。受診票に記載されている注意事項を守り、忘れずに受診してください。

実施月日	曜日	対象地区
9月26日	月	浅生原・磯
9月27日	火	真庭・花釜0～8班
9月28日	水	下郷・上平
9月29日	木	中浜・牛橋
9月30日	金	笠野・花釜9～43班
10月1日	土	花釜44班～
10月3日	月	八手庭・横山・大平
10月4日	火	小平・久保間・町
10月5日	水	鷲足・高瀬・新浜
10月6日	木	山寺・合戦原・中山
10月7日	金	山下・診療所

- 対象者 35歳以上の住民
(年齢基準日：平成24年3月31日現在)
- 会場 保健センター
- 受付時間 7時30分～9時30分
- 個人負担金 2,200円
※検査料5,040円、うち町補助2,840円
- ◇以下に該当する方にはさらに補助があります。
・農協組合員 200円
※個人負担金2,200円から上記補助を差し引いた金額を当日お支払いください。

土曜日検診を実施しています

平日、都合の悪い方は、ぜひ土曜日に受診してください。

- 日時 10月1日(土)
- 受付時間 7時30分～9時30分
- 場所 保健センター

＋ 子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成のお知らせ ＋

町では、中学1年生から高校1年生相当年齢の女子に対する子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を行っています。

この予防接種は、任意の予防接種であり、保護者の希望により受けるものです。予防接種は、効果と同時に副反応のリスクを伴いますので、疑問のある方は、保健福祉課健康づくり班までお問い合わせいただくか、主治医または接種医にご相談ください。

- 対象者 山元町に住所を有する中学1年生から高校1年生相当年齢
(平成7年4月2日から平成11年4月1日生まれ)の女子
- 費用助成期間 平成23年4月1日～平成24年3月31日
- 接種回数 3回
※3回目の接種は、初回接種から6カ月後になります。
※上記期間内に接種を完了するには、平成23年9月末までに1回目を受けてください。
- 予防接種の受け方 下記の医療機関に直接電話で予約してください。予診票は医療機関にあります。
- 個別予防接種委託医療機関(巨理郡内12カ所)
【山元町】 ○菊地内科医院 ○平田外科医院 ○松村クリニック
【巨理町】 ○板橋胃腸科肛門科 ○氏家医院 ○大友医院 ○大友医院ヒロミ小児科 ○熊谷内科医院
○三浦クリニック ○三上医院 ○やべ内科クリニック ○山形外科医院
- 接種費用 無料
- 持ち物 母子健康手帳、健康保険証

☎ 保健福祉課 健康づくり班 37-1113(内線148・149)

保育所給食で人気の野菜メニュー

野菜のひき肉あんかけ(4人分)

カボチャ	200g	
ナス	120g	
さやインゲン	60g	
ニンジン	40g	
油	大さじ2	
豚ひき肉	120g	
ショウガ	1かけ	
油	大さじ1	
中華だし	1カップ	
A	味噌	大さじ2
	砂糖	大さじ1
	みりん	大さじ1
	片栗粉	大さじ1.5

- ①カボチャ、ナス、ニンジンは食べやすいように一口大の大きさに切る。
- ②さやインゲンは筋を取り除いておく。
- ③①、②は油を熱したフライパンで火が通るまで炒め、皿に盛り付ける。
- ④ショウガをみじん切りにして、油を熱したフライパンで香りが出るまで炒め、ひき肉を加える。
- ⑤ひき肉に火が通ったら中華だしを加えてひと煮立ちさせ、Aを加え味を整える。
- ⑥水溶き片栗粉でとろみをつけ、③の野菜にかける。

エネルギー 234kcal
タンパク質 8.7g
塩分 1.2g



下水道の仕組み

- 海水等が蒸発し、雲になり川やダムに雨となって降り注ぎます。
- そこから取水した水は生活や工場等の生産で使用され、排出した汚水として排出されます。
- 汚水は、下水道管を通して下水処理施設に運ばれ、浄化しきれいな水となって再び放流しています。



水の循環

下水道の役割

1. 海や川をきれいにします。
生活や生産により汚された水を浄化して海や川に戻します。
2. 生活環境を保全します。
下水道の整備により悪臭等がなくなり、衛生的で住環境が向上します。



現在、山元町の処理場(5カ所)は東日本大震災において坂元地区農集排水処理施設(町地区)を除き、甚大な被害を受け処理場での機能的な処理は停止していますが、山元浄化センター(花釜区)および上平地区農集排水処理施設(中浜区)においては、簡易処理として汚水を沈殿させた後、その上澄みに塩素消毒を行い、放流しています。

なお、現在町では、放流水質の改善に向けた応急対策を検討しています。

下水道を使用している皆様へお願い

下水道施設の完全復旧まで1年以上要することから、皆様にはご迷惑をお掛けしますが、次のことにご協力願います。

- (1) 節水にご協力をお願いします。
 - ・お風呂の水は、捨てずに洗濯等に再利用してください。
 - ・シャワーを流しっぱなしにしないようにお願いします。
- (2) 家庭での排水処理方法にご協力をお願いします。
 - ・油はなるべく紙等に染み込ませ、燃えるゴミとして処理してください。
 - ・網ネットなどを利用し、野菜くずや毛髪が下水道管へ入らないようにお願いします。

水道水放射線測定結果

水道水の放射線測定結果は、下記のとおり「不検出」となっていますので、安心してご使用ください。

採取場所	採取日	用途	結果	単位: Bq/kg (ベクレル)	
				食品衛生法に基づく乳児の飲用に関する暫定的な指標値	原子力安全委員会が定めた飲食制限に関する指標値
仙南・仙塩広域水道 南部山浄水場(白石市)	8月23日	放射性ヨウ素	不検出	100	300
		放射性セシウム		無し	200
山元町横山・小平・山下 坂元 深井戸	8月18日	放射性ヨウ素	不検出	100	300
		放射性セシウム		無し	200

※県公表の水道水放射線測定結果(南部山浄水場8月23日測定・町内深井戸8月20日測定)

問 上下水道事業所 庶務班 ☎ 37-1120 (内線251)



上下水道事業所からのお知らせ



第51回下水道の日(平成23年9月10日) 『下水道 生きものすべてのいのちのわ』

世界最古の下水道は約4,000年前のインドのモヘンジョ・ダロの下水道といわれており、当時の下水道は家庭で排出した汚水を川に流すという単純な仕組みでした。以後、下水道の大きな発達がなかったため、産業革命後の人口増加等によるし尿等の処理量の増大に対処できませんでした。その結果、不衛生な環境からコレラ等の伝染病が流行し、多くの死者を出しました。

その反省から、1855年にロンドンで作られた下水道が衛生的で、近代的な下水道とされています。

わが国では、第二次世界大戦後に近代下水道が作られ、1961年(昭和36年)、著しく遅れていた下水道の全国的普及促進(当時の普及率は約6%)を目的に、「全国下水道促進デー」が制定されました。

それから約40年経過した2001年(平成13年)には、より親しみのある名称として「下水道の日」に変更されました。

なお、今年は『下水道 生きものすべてのいのちのわ』をスローガンに、全国で各種催しが開催されます。



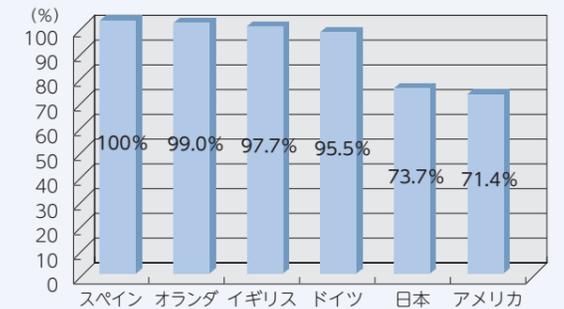
世界最古のモヘンジョ・ダロの下水道

下水道の普及率

わが国の下水道が本格的に整備されるようになったのは昭和30年ごろで、産業の発展に伴い工場等の排水により河川や湖沼等の水質汚濁防止として発達していきました。

それまでは、し尿を農作物の肥料としていたことが、下水道の普及を遅らせる原因ともなっていました。

右の表を見ても他の先進諸国と比較して低い数字であり、今後のさらなる普及促進が必要となります。



先進諸国との比較

本町の下水道事業

本町では、都市化や産業・経済の発展を背景に、水質汚染や土壌汚染を防止するため、昭和53年度に農業集落排水事業(花釜地区)に着手したのが下水道の始まりです。

現在では、本町の総人口16,003人(平成23年3月31日現在)のうち、その約54.7%である8,758人の方が下水道を利用しています。

(平成23年3月31日現在)

	区分	地区	利用者数(人)	総人口に対する普及率(%)
下水道	特定環境保全公共下水道	主に町の北部	6,050	37.8
	農業集落排水	主に町の南部	2,708	16.9
合計			8,758	54.7

東北一斉「法務なんでも相談所」開設

仙台法務局では、東日本大震災から半年の節目に被災された皆さんをはじめ、地域住民の皆さんの各種登記、土地の境界、相続、遺言、戸籍、供託、人権擁護等に関するご相談を幅広くお受けするため、次のとおり相談所を開設しますのでご利用ください。

相談は無料で、予約は不要です。秘密は固く守ります。

受付日時 9月11日(日) 10時～16時

開催場所 山元町中央公民館

相談専用フリーダイヤル ☎0120-022777-746

※右記フリーダイヤルは、平日(8時30分～17時15分)

おしらせ



☎: 問い合わせ先 ☑: 申し込み先

および休日(9時～16時、9月11日は10時から受付となります)にご利用いただけます。

☎022-2251-5689

10月1日～7日は「公証週間」です

私人間の権利・義務を明確にし、争いを未然に防止するのが公証制度です。

遺言・任意後見、離婚(養育費・慰謝料等)や金銭・土地建物の賃借、不動産の売買などの大切な契約は、法務大臣

が任命した法律の専門家である公証人が作成した、公正証書にしておくことをおすすめします。

最寄りの公証人役場は次のとおりです。お気軽にお問い合わせください。

○大原公証役場
〒989-1124
大原町字新南35-3
☎0224-15312265

☎022-2251-5718

「国税に関する申告・納付等の期限」のお知らせ

平成23年3月11日から9月30日までの間に到来するすべての国税の申告・納付等の期限は、平成23年9月30日(金)です。

■振替納税をご利用の方
9月30日までに申告所得税や個人事業者の消費税および地方消費税に係る平成22年分の確定申告書を提出した方で振替納税をご利用の方の振替納付日は、平成23年10月31日(月)となります。

■申告等の手続きが困難な方
東日本大震災による災害等により、9月30日までに申告・納付等の手続きが困難な方については、個別に期限の延長が認められますので、状況が落ち着いた後、最寄りの税務署にご相談ください。

※その他の震災特例法の内容や震災に伴う税務上の取り扱いについては、国税庁ホームページ(www.nta.go.jp)をご覧ください。

☎022-30618001

ハローワーク仙台による巡回相談

ハローワーク仙台では、町内施設および仮設住宅集会所において、次のとおり巡回相談を実施しています。求人情報の提供や職業紹介など、仕事探しに関するさまざまなご相談をお受けしていますので、お気軽にご利用ください。

■対象となる方
東日本大震災により被災し、仮設住宅等にお住まいの方

- 巡回相談の内容
- 初めてハローワークを利用する方については、ハローワークに登録(求職登録)することができます。
 - 仕事探しに関するさまざまなご相談をすることができます。
 - ハローワーク仙台が毎日発行している「求人ホットニュース」をはじめとした、新着の求人情報をお持ちします。
 - 応募したい求人が見つかった場合は、その場で求人先に連絡し、紹介します。

■巡回相談スケジュール

実施場所	日程	時間帯
ナガワ仙台工場内 仮設住宅集会所	9月12日(月)	10:30～12:00
	9月26日(月)	13:00～14:30
町民グラウンド 仮設住宅集会所	10月3日(月)	13:00～14:30
浅生原箱根 仮設住宅集会所	9月13日(火)	10:30～12:00
	9月20日(火)	10:30～12:00
高瀬西石山原 仮設住宅集会所	9月27日(火)	13:00～14:30
	10月4日(火)	13:00～14:30
山元町中央公民館	9月14日(水)	10:30～12:00
	9月21日(水)	10:30～12:00
旧坂元中学校跡地 仮設住宅集会所	9月28日(水)	13:00～14:30
	10月5日(水)	13:00～14:30
浅生原内手 仮設住宅集会所	9月15日(木)	10:30～12:00
	9月22日(木)	10:30～12:00
山元町役場 坂元支所	9月29日(木)	13:00～14:30
	10月6日(木)	13:00～14:30

※実施場所や時間が変更になる場合がありますので、あらかじめ下記までお問い合わせください。

☎ハローワーク仙台 計画職業紹介部門
担当 加納・加藤 ☎022-299-8820

2日間とも天候に恵まれ、ノルディックウォーキングやキャンプファイヤー、トウモロコシ狩りなどの交流を通じて、豊かな自然を満喫しながら



ノルディックウォーキング体験

「みやぎ蔵王山麓自然体験学校」で「絆」を深める

先月4日(木)から5日(金)にかけて、宮城県蔵王自然の家を会場に「みやぎ蔵王山麓自然体験学校」が開催されました。蔵王町観光協会より招待を受けた山元町内小学校5・6年生73人、蔵王町内小学校5・6年生52人が参加しました。



トウモロコシ狩り体験



とれたて野菜がたっぷり入ったカレーを
おいしくいただきました

ら蔵王町の子どもたちとの「絆」を深めました。

中央公民館・坂元公民館からのお知らせ

避難所の閉鎖に伴い、中央公民館と坂元公民館内会議室等の一部が使用できるようになりました。

なお、使用できる施設等の詳細については、左記までお問い合わせください。

☎中央公民館 37-5116
☎坂元公民館 38-0415

町の体育振興に貢献
当町体育指導委員が表彰

7月22日、利府町役場で開催された宮城県体育指導委員協議会総会において、鈴木信子さん(花釜区)が東北地区体育指導委員協議会功労者表彰を、門間守さん(磯区)が宮城県体育指導委員協議会功労者表彰を受けました。

鈴木信子さんは22年間、門間守さんは10年間という長年にわたり、当町の体育指導委員として各種スポーツの実技指導への積極的な取り組み、地域スポーツの振興に対する多大な貢献が認められ、今回の表彰となりました。

鈴木さん、門間さん、おめでとうございます！



鈴木信子さん

門間守さん

成人式実行委員募集！
成人式をいっしょに盛り上げましょう

町では、来年1月8日(日)開催予定の「平成23年度成人式」を企画する実行委員を募集しています。

思い出に残る成人式を自分たちの手で作り上げてみませんか？

平成23年度成人式対象者
平成3年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた方



☎生涯学習課 ☎37-5116

いつでもどこでも だれでも
生涯学習コーナー

問い合わせ

生涯学習課	37-5116	坂元公民館	38-0415
中央公民館	37-5116	歴史民俗資料館	37-0040
勤労青少年ホーム	37-2919	ふるさと伝承館	37-3150
体育文化センター	37-2919	深山山麓少年の森	37-3150

労災保険給付および未払賃金の立替払い制度

被災された皆さんの生活再建のために

被災された労働者の方が「死亡」または「行方不明」の場合、ご家族（ご遺族）の方が「労災保険」による給付を受けられます。

未払賃金の立替払いとは、企業が倒産したことに伴い、賃金が未払いのまま退職された労働者の方に、未払い賃金（退職金を含む）の8割相当額を立替払いする国の制度です。この制度は、企業にお勤めされたご家族の方や、退職後6カ月以内（3月11日退職の場合、9月11日まで）に所要の手続きをいただいたかたに利用できません。

一方、被災された方の「死亡」や「行方不明」を受け入れられない方が多いことも想定されるため、宮城労働局および労働基準監督署は当該制度の対象となる可能性のある関係者に個別にお知らせしています。しかし、すべてを把握することが困難なことから、津波が発生してから休業したままあるなど、労災保険給付および未払賃金の立替払いの対象となる労働者が働いた事業場等を把握している方は、左記まで情報提供願います。

法務省から、東日本大震災で被災された方で、ご遺体が発見されていない方についての死亡届の取り扱いが公表されています。

震災の影響で延期されていた県内のアナログ放送終了日は、平成24年3月末になりました。1年間の延長ではありませんが、ご家族のアンテナなどに不具合があったりすると、地上デジタル放送がきれいに受信できない場合もあります。アナログ放送が終了したのに地デジの準備ができていないというようなことのないようご注意ください。早くに地デジの準備を済ませ、来年3月末のアナログ終了を迎えてください。

年金事務所からのお知らせ

東日本大震災により被災し、住宅、家財、その他の財産についておおむね2分の1以上の損害を受けられた方等は、ご本人からの申請に基づき、国民年金保険料が全額免除になります。この免除制度の申請期間が平成24年3月末日まで延長されました。

免除対象となる期間は、平成23年2月から平成24年6月までとなります（学生納付特例制度は平成23年2月から平成24年3月まで）。なお、免除を受けた期間については、年金を受け取るために必要な資格期間としては取り扱われますが、年金額を計算する場合には保険料を納付しているときより減額されて計算されますのでご注意ください。

本制度の申請窓口は、町民生活課および坂元支所、またはお近くの年金事務所になります。

なお、被災世帯や市町村税非課税世帯への「チューナー給付」など、いくつかの支援策もあります。地デジに関するご相談は左記までどうぞ。相談は無料です。お気軽にご相談ください。

運転免許証の日曜窓口

日時 9月18日(日) 10月2日(日)
受付 8時30分～9時30分 13時～14時
宮城南運転免許センター免許係
☎0224-530111

募集

上下水道メーター検針員募集

募集人員 1人
対象者 町内在住の65歳未満の方（学生は除く）で、長期的に業務を遂行できる方
※性別は問いません
契約 1年毎に更新
業務内容 偶数月は北部地区（主に山地区）と奇数月は南部地区（主に坂元地区）に分け、各家庭に設置してある水道メーターの指針をハンディ（検針機械）に入力し、検針票を配布します。検針日は、毎月15日から25日です。
業務開始日 10月15日(出) ※事前に説明を行います
検針地区 奇数月（南部地区）、偶数月（北部地区）

検針件数 南部地区約600件、北部地区約200件（件数は状況により変動します）
単価 1件当たり63円、他広報等配布料1枚当たり2円
申込方法 履歴書（市販のもので可）を郵送または持参してください。
※3カ月以内に撮影した写真を添付してください。
申し込み期限 9月30日(金)17時まで（必着）
選考方法 書類審査により決定します。

申し込み 受講申込書（生涯学習課に備え付け）に必要事項を記入のうえ、郵送または持参により左記まで提出してください。
※受講申込書はみやぎ県民大学ホームページからもダウンロードできます。
宮城県教育庁生涯学習課 生涯学習振興班 みやぎ県民大学担当
〒980-0842
仙台市青葉区本町3-8-1
☎022-211-3652

みやぎ県民大学「生涯学習支援者養成講座・入門編」募集

開講期間 平成23年11月2日(水)～12月14日(水)
※毎週水曜日、全6回
対象 原則として、全6回を受講できる方で、生涯学習活動の振興に興味をお持ちの18歳以上の一般県民の方。
定員 30人程度
参加費 無料
受付期間 9月1日(木)～9月30日(金)

今年度も坂中祭（文化祭）で、生徒・保護者・教職員・地域の方による夢の300人大合唱を実施します。坂元中学校を支えていただいている方々に、坂中生が日ごろの感謝の気持ちを込めて、ともに楽しいひとときを過ごせたらと思っています。3年目を迎えた300人大合唱は、どなたでも参加できる合唱です。ぜひ多くの方の参加をお待ちしています。

発表日時 10月22日(土) 11時30分

発表日時 10月22日(土) 11時30分

生命保険協会からのお知らせ

法務省から、東日本大震災で被災された方で、ご遺体が発見されていない方についての死亡届の取り扱いが公表されています。

これを受けて、生命保険各社では、本取り扱いにより死亡届が受理された方について保険金支払い等に関するご相談に応じています。また、被災された方への保険金等の支払いについては、必要書類の一部省略など、特別な取り扱いを実施していますので、詳しくはご加入の生命保険会社にお問い合わせください。

生命保険各社では、お客様の安否を確認していますが、一部確認がとれない方がいることから、まだ生命保険会社と連絡がとれていない方は、ご加入の生命保険会社までご連絡をお願いします。

なお、被災世帯や市町村税非課税世帯への「チューナー給付」など、いくつかの支援策もあります。地デジに関するご相談は左記までどうぞ。相談は無料です。お気軽にご相談ください。

イベント

宮城いきいき学園 仙南校文化祭

日時 10月2日(日) 10時30分～16時
場所 岩沼市民会館

時間	開催内容
10時30分～16時00分	作品展示
15時30分～16時	震災チャリティバザー
12時45分～15時00分	ステージ発表

開催内容
宮城いきいき学園仙南校文化祭実行委員会 相澤光二
☎0224-541735

第44回 船岡支援学校文化祭

日時 10月8日(土) 9時30分～14時25分
場所 宮城県立船岡支援学校
開催内容 劇・音楽など学芸発表、作品展示・販売ほか
宮城県立船岡支援学校
☎0224-542213

発表日時 10月22日(土) 11時30分

休日急患当番医

診療時間 9時～17時

※休日における当番医は、急患患者の医療業務のみを目的として実施していますのでご協力をお願いいたします。なお、休日当番医は変更になることもありますので新聞などで確認のうえ受診してください。

- ◆ 9/11 (日) ◆ 松村クリニック(山元町) ☎38-0005
- ◆ 名取いちろう歯科クリニック(名取市) ☎022-382-8601
- ◆ 津川歯科医院(亘理町) ☎34-4733
- ◆ 9/18 (日) ◆ 高藤歯科医院(岩沼市) ☎22-2666
- ◆ 熊谷内科医院(亘理町) ☎34-5140
- ◆ 三上医院(亘理町) ☎34-3711
- ◆ 9/19 (月・祝) ◆ 菊地歯科医院(山元町) ☎33-8960
- ◆ なとり駅前歯科クリニック(名取市) ☎022-382-3343
- ◆ 9/23 (金・祝) ◆ 浜吉田駅前内科(亘理町) ☎33-7377
- ◆ 塚辺歯科医院(岩沼市) ☎24-2211
- ◆ 平田外科医院(山元町) ☎37-4055
- ◆ 9/25 (日) ◆ いけだ歯科クリニック(名取市) ☎022-383-6480
- ◆ 紺野歯科クリニック(亘理町) ☎32-0677
- ◆ やべ内科クリニック(亘理町) ☎34-3003
- ◆ 10/2 (日) ◆ きくち歯科(亘理町) ☎34-0644
- ◆ 美田園歯科(名取市) ☎022-343-8721
- ◆ 10/9 (日) ◆ 氏家医院(亘理町) ☎34-1320
- ◆ 松ヶ丘歯科医院(岩沼市) ☎24-3788
- ◆ 亘理整形外科(亘理町) ☎34-5303
- ◆ 10/10 (月・祝) ◆ 紺野歯科クリニック(亘理町) ☎32-0677
- ◆ めでしま歯科医院(名取市) ☎022-384-1840

注) 疾患や年齢等によっては対応できない場合もありますのでご了承ください。

やまもと健康だより

☎保健福祉課 健康づくり班 ☎37-1113 (内線148・149)

実施場所：保健センター

事業名	月日	対象者等	受付時間
母子手帳交付	9月20日(火) 10月11日(火)	山元町に住所のある妊婦	9:30～10:00
母子・成人関係 離乳食教室	10月12日(水)	5～6カ月児	9:45～10:00
3～4カ月児健診	10月5日(水)	平成23年5月4日～7月5日生まれ	13:00～13:20
1歳1～2カ月児健診	10月5日(水)	平成22年8月～9月生まれ	12:00～12:20
1歳6～8カ月児健診	9月28日(水)	平成22年1月～3月生まれ	12:30～13:00
幼児歯科健診	10月13日(木)	平成21年4月～6月生まれ	12:45～13:00

実施場所：松村クリニック(坂元)

事業名	月日	対象者等	受付時間
予防疫種関係 麻しん・風しん(MRワクチン)Ⅰ期	10月4日(火)	生後12～24カ月未満に1回	13:00～14:00

《麻しん・風しん》
麻しん・風しん(MRワクチン)第1期を接種希望の方は、予約が必要になります。接種日の1週間前まで保健福祉課に電話で申し込んでください(平日の8時30分～17時)。

水道休日当番

- ◆ 9/11 (日) ◆ (株)松村工業所 ☎38-0558
 - ◆ 9/18 (日) ◆ (株)山村設備 ☎38-0150
 - ◆ 9/25 (日) ◆ (有)阿部ホームサービス ☎37-3469
 - ◆ 10/2 (日) ◆ (有)伊藤設備工業所 ☎37-2108
 - ◆ 10/9 (日) ◆ 木村工事(株) ☎37-2853
- 複数の修理が入っている場合はすぐに対応できないことがありますので、ご了承ください。
☎上下水道事業所 施設班 ☎37-1120 (内線252)

子どもの心の「巡回相談」を実施します

今回のような災害を体験した多くの子どもたちは、心と体にいろいろな変化が起こるといわれています。

町では、専門スタッフによる子どもの心の「巡回相談」を次のとおりを実施します。

☆こんな時、どうぞお気軽にご相談ください☆

震災後、お子さんがささいなことにおびえる、赤ちゃんがえりがある、寝つきが悪い、興奮して落ち着きがなくなる、お子さんのことで、相談できる相手がいない…等

日時 9月21日(水) 10時～15時
場所 山元町保健センター
対応機関 宮城県子ども総合センター(医師、保健師、心理士)
申し込み 予約制で行います。希望される方は、保健福祉課までご連絡ください。相談時間は申し込み後に調整します。

☎保健福祉課 健康づくり班 ☎37-1113 (内線148)

9

日	月	火	水	木	金	土
...	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	...

情報局やまもと

Information

9月15日から10月14日まで

10

日	月	火	水	木	金	土
...	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31

今月の相談

- ◆ **青少年相談** 9月20日(火)
青少年の非行防止のため、問題を抱える青少年や親との相談
- ◆ **登記相談** 10月11日(火)
土地や建物の名義書き換えなど、登記に関する相談
- ◆ **消費生活相談** 10月12日(水)
商品の安全、品質または訪問販売・債務などに関する相談
※水曜日を除く、平日9時～16時にも相談できます
- ◆ **行政苦情相談** 10月14日(金)
国や県、町などが行っている仕事についての要望や苦情相談
- ◆ **生活相談** 9月21日(水)
生活、家庭、老後などに関する困りごと、悩みごと相談
- ◆ **人権相談** 9月15日(木)
人権侵害、夫婦、親子間のトラブルや、いじめなどの相談
- ◆ **年金相談** 9月16日(金)
国民年金、厚生年金など年金に関する相談

場所 役場仮庁舎 第1相談室(1階) 時間 13時～15時 ☎町民生活課 生活班 ☎37-1112 (内線121)

「法の日」無料相談

相続・売買・贈与等の不動産登記、会社・法人登記の相談、訴状、支払督促、人権に関する相談を行います。
日時 10月3日(月) 10時～15時 場所 役場仮庁舎 第1会議室(1階)
相談員 宮城県司法書士会・宮城県行政書士会・山元町人権擁護委員 ☎町民生活課 生活班 ☎37-1112 (内線121)

- ◆ **健康相談** 10月11日(火) 13時30分～16時
生活習慣病予防を中心に、健康づくりに関することに、保健師・栄養士が相談に応じます。
- ◆ **精神保健相談** 10月7日(金) 10時～11時30分
精神科医によるこころの相談(認知症の相談も含む)希望者は事前に電話で申し込み下さい。
- ◆ **育児相談** 10月11日(火) 10時～11時30分
育児相談にあわせて臨床心理士による発達相談を行います。発達相談希望者は事前に電話で申し込みください。

場所 保健センター ☎保健福祉課 健康づくり班 ☎37-1113 (内線148・149)

※相談者が重複するとお待ちいただく場合がありますので、事前の電話予約が便利です。

連載 消費生活・これだけは知っておこう!

第49回 「震災に乗じた未公開株の勧誘に注意!

被災地支援など震災にかこつけた話にだまされないで!!

「風力発電が目立っている。風力発電の事業者が近々上場する予定だ。上場すれば株価が上がり、儲かる」とか「国際的な医療等の救済活動や投資トラブルの被害者の救済を目的とする会社が発行している株を買わないか。上場したら価値が上がる」といった未公開株の購入を勧誘する相談が増えていますので注意しましょう。

震災を口実にしたセールストークにだまされないこと! 安易な儲け話はきっぱり断ること! そして慌ててお金を支払わないこと!

不審に思ったらすぐに家族や役場消費生活相談窓口にご相談しましょう!

☎町民生活課 生活班 ☎37-1112 (内線123) 役場消費生活相談窓口 水曜日を除く、平日9時～16時

町の情報発信基地

りんごラジオ「絶賛放送中」

震災から11日目となる3月21日、被災者の窓口対応でごった返す役場庁舎ロビーで産声をあげた災害臨時FM「りんごラジオ」。以来、今日まで行政情報や安否情報、ニュースなど、さまざまな情報を届けてきました。

6月には、災害臨時FMから常設のFM放送局として存続するこ



贈られた手作りの看板といっしょにハイ！チーズ

とが決定し、現在、中央公民館前プレハブに放送局を構え、今日も電波に元気を乗せて町民の耳に届けています！

陸の孤島と化した町に情報を！

震災直後、通信手段が寸断され、一時全滅したとの情報まで流れたわが町。町内各所で情報がない町民の不安な声を耳にし、「早く被災地の現状と最新の情報を地域の方に伝えたい」と話す高橋厚さん（浅生原区）。

以前から親交のあった新潟県のFMなおかの脇屋さんに相談したところ快諾。FMなおかの全面的な協力を得て、異例ともいえる早さで災害臨時FMを立ち上げました。その名も「りんごラジオ」。町特産のリンゴ、そして、戦

人口の動き

7月末現在(前月比)	
世帯	5,014戸 (△26世帯)
男	7,215人 (△38人)
女	7,560人 (△52人)
合計	14,775人 (△90人)
出生	4人
死亡	28人
婚姻	8件
転入	40人
転出	105人

△：減少

開局当初は、友人ら約20人のボランティアスタッフが交代

後、日本人々を元気づけた復興のシンボル「りんごの唄」にちなんで名付けられたその名前には、高橋さんの山元町に對する思いが込められていきます。

りんごラジオ 主なタイムテーブル

8時～	オープニング 朝刊拾い読み
9時～	山元町情報
10時～	体操・生活・健康情報
11時～	ここが聞きたい！
12時～	山元町情報
13時～	ざ・サークル
14時～	山元町歴史散歩
15時～	りんご劇場 (民話・語り・昔話)
16時～	学校便り&校歌
17時～	山元町情報

現在、町内者のほか、仙台市や塩釜市、神戸市などからのボランティア、

みんなで育て、愛される双方向性を 持ったラジオを目指す

で、番組制作から記録係まで役割を分担しながら運営していました。時間が経つにつれて人数が減り、ラジオの生命線である「速報性」を確保するため、「スタッフ集めに苦労した」と高橋さんは当時を振り返ります。



3月21日開局当時の様子

ティアスタッフ常時5〜6人で運営しているりんごラジオ。開局当初は災害情報を中心だった放送内容も、今では行政情報のほか、町の歴史や文化など地域に根ざした企画が盛りだくさん。毎週土曜日には、町内在住の外国人の方々の協力ももらい、4カ国語での放送も行う充実ぶりです。

高橋さんは、「きめ細かな情報を早く、正しく伝えられるのがコミュニティFMの強み。今後も速報性、機能性を生かし、町民の皆さんに役立つより良い情報を提供していきたい。また、こちらからの一方的な情報の発信だけではなく、町民の皆さんにもっと利用してもらい、情報の双方向性を持ったラジオにしていきたい」と今後の抱負を語るとともに、「皆さんが当たり前だと思っていることが、実はとても重要な情報である場合が多いので、遠慮せずどしどしお寄せください」と呼びかけていました。

りんごラジオでは、さまざまな企画を現在検討しているとのこと、今後もラジオから耳が離れません。

りんごラジオ

FM 80.7MHz
放送時間 8時～17時
※9時・12時・17時に町の情報をお知らせしています。
☎0223-29-4772
ringoradio@gmail.com

情報をどしどしお寄せください！

編集・発行／山元町役場総務課

〒989-2292 宮城県亘理郡山元町浅生原字作田山32 ☎0223-37-1111
ホームページアドレス <http://www.town.yamamoto.miyagi.jp>
携帯サイトアドレス <http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/k>
eメールアドレス info@town.yamamoto.miyagi.jp



QRコード読みとり機能付きのカメラ付携帯電話で左記のコードを読みとると簡単にサイトにアクセスできます。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

この「広報やまもと」は1部当たり約30円です。

印刷所／今野印刷(株) ☎022-288-6123

広報やまもと9月号 No.382 (24)